

病害虫防除技術情報第 6 号

平成 22 年 7 月 13 日

三重県病害虫防除所

セジロウンカの常発地では対策が必要です

(セジロウンカ第 2 報)

1. 対象作物：水稲
2. 対象病害虫名：セジロウンカ
3. 発生時期：7 月～8 月
4. 発生状況：

紀州地域の巡回調査圃場（7 月 5、6 日・10 株払い落とし調査）では、ウンカ類幼虫の発生圃場率 82.1 %（平年 38.8 %）、払い落とし虫数 17.7 頭（平年 3.5 頭）と多い状況であり、そのほとんどがセジロウンカ幼虫であることが確認されました。

また大紀町や紀北町では、葉鞘の黄変する被害が発生した圃場がありました（写真）。



セジロウンカによる葉鞘の黄変;2010年7月5日 大紀町

5. 防除対策

- 1) 例年発生の多い地域（特に県南部）では圃場を見回り、発生状況を確認しましょう。過去に被害が発生したことのある地区では注意が必要です。
- 2) 株元を注意して観察しましょう。葉鞘が黄変したり、成虫や幼虫が多発している場合は、今後被害が発生する可能性があります。
- 3) 現在発生している成虫・幼虫の次の世代による被害を防ぎましょう。まもなく出穂期ですので、斑点米カメムシ防除を兼ねた薬剤散布をするとよいでしょう。